

なにわ大阪研究センター研究プロジェクト

研究プロジェクトについて

関西大学なにわ大阪研究センターがめざす「ネットワークとしての大阪研究の拠点づくり」を支援するために本センターの活動方針の中核ともいえるべき基幹研究部門を設定し研究班を公募しています。これらを足掛かりとして、本センターにおける地域研究と連携の活動が一層重層化されるとともに、今後の継続的な外部資金獲得の基盤が形成されることが期待されています。

基幹研究部門について

1. 本学のルーツを探る関西法律学校・泊園書院部門
2. 永続的な地域研究のハブを宣言する大阪地域研究部門
3. 上方演芸の研究部門
4. 歴史認証とCG技術、社会科学、工学の英知を結集した景観再現・デジタルアーカイブズ部門
5. 大阪の防災・減災と環境部門
6. 上記の研究部門以外で、研究者自らが提案する研究

採択課題一覧

2020年度～2021年度

研究課題	SPレコード（松本コレクション）のデータベース作成と分析
研究代表者	米田 文孝 文学部・教授 博物館・館長
研究概要	<p>本研究では2つの領域の研究成果から、大正から昭和初期にかけての「松本コレクション（SPレコード）」を通じた大阪の芸能活動について総括する。</p> <p>第1領域 大正から昭和初期における世相・風俗、特に阪神間モダニズムを探究する。</p> <p>第2領域 松本コレクションの詳細なデータベースを構築して体系的に分類し、本学の教育・研究活動等の利用に供する。大正から昭和初期にかけて、関西大学の千里山移転および学生生活を取り巻く社会情勢とSPレコードの関連について探究する。</p> <p>松本コレクションのSPレコードは、主に大正から昭和初期に製造された物が多く、多岐にわたって収集され記録された音を通して、同世代の世相・風俗を研究することができる。</p>
研究分担者	橋寺 知子 環境都市工学部・准教授 篠塚 義弘 博物館・学芸員
研究期間	2020年度～2021年度（2年間）

研究課題	IRの大阪誘致に伴う社会問題に対する規制方法の考察
研究代表者	座主 祥伸 経済学部・准教授
研究概要	<p>本研究では、IR誘致に伴う社会問題として懸念されるギャンブル依存症患者の増加を念頭に、合理性に欠ける人が消費者金融業者やヤミ金業者から融資を受ける際の法的規制の可能性について、医学的知見を踏まえた法学・経済学の社会科学のアプローチで考察する。考察の結果、法学において適合性の原則が妥当する人とは違う予測可能性のもとでの法規制を考えることができ、経済学においては法と経済学や行動経済学の新しいテーマの分析が可能となり、それぞれの分野において学問的な成果を期待できる。</p> <p>ギャンブル依存症を念頭に、法学や経済学で通常想定している合理的に判断できる人ではない人（合理性に欠ける人）を前提にした消費者金融を中心に規制方法を検討する。</p>
研究分担者	多治川卓朗 法務研究科・教授 三島 徹也 会計研究科・教授
研究期間	2020年度～2021年度（2年間）

